



県議会議員
佐藤まさゆき

くらし、雇用まもり 家族農業への経営支援を



JAと懇談



すこやかに生まれ、育ち、働き 食と農、いのちが輝く県政へ

医療

国民健康保険証

佐藤まさゆき県議は、切実な県民の願い、要望をもとに一般質問の準備をすすめましたが、質問権を奪われる異常な運営となりました。こうした状況のもとで、県民の声を届け、県政をチェックする議員の仕事と役割を果たすため、議会ルールにのっとり「文書質問」などを行いました。

「治療が必要な場合」は短期保険証を発行
市町の資格証明書の発行やめさせよ

国保の資格証明書に関して、「治療が必要である場合には短期保険証を発行して『医療の確保に努める』」との田村智子党参議院議員への答弁を紹介。①治療が必要な人には直ちに保険証を発行する、②資格証明書の発行はやめるよう、求めました。

知事の文書回答

今後とも各市町に対して、資格証明書に係る国の通知を踏まえ、適切に対応するよう指導、助言していきたい。



雇用

正社員が当たり前の雇用ルールを

重点分野の雇用創出事業
正規雇用が条件の事業計画に改めよ

県関係では400人の雇用を生み出す創出事業計画だが、「何人の正規職員を雇用したのか」と、事業計画の問題点を指摘し、改善を求めました。

知事の文書回答

正規雇用が条件となっており、平成25年度は、510人余について最大1年間の雇用を創出したところである。

介護

介護サービス充実、保険料負担の軽減

県独自の緊急対策を

社会保障制度改革について、知事は国に提言を行うのであれば、要支援1・2外しの中止、病床削減中止などを求め、介護保険料軽減へ県としての緊急対策をとるべきではないか。

知事の文書回答

介護予防サービスの見直しについては、必要があれば、全国知事会を通じ、国へ要望するなど、適切に対処していきたい。



農業

農業への大企業参入を厳しく批判

補正予算は、農協解体やTPPを前提に農業分野における「大企業のビジネスチャンス拡大」するもので、「家族農業や県内農業を衰退に導く」と指摘し、厳しく批判しました。

国際家族農業年―大多数の農家が農業に励めるよう県の支援策を

国連は2014年を国際家族農業年と定め、家族農業や小規模農業が有する社会的役割を高く評価しています。安全な食料の安定供給や農業の多面的機能の発揮には大小多様な農家の存在が欠かせないと指摘し、国連報告書の受け止めや、農業に励む家族経営をどう支援するか、見解を求めました。

知事の文書回答

小規模な農家は、農業集落の維持という面からも、大きな役割を果たしている。食料・農業・農村基本法には、家族農業経営の活性化を図ることが明記されており、家族経営を否定するものでない認識している。

不要不急の補正予算を検証

くらし応援、生活密着型へ

補正予算の
組みかえを要求

佐藤まさゆき県議は、国いいなり、開発型の公共投資を最優先する一方、県民のくらしの悲鳴に背をむけ、福祉・教育、くらしを守る緊急対策型の施策が乏しく、工夫の跡が見られないと、補正予算案の組みかえを求めて反対しました。

こんな新規事業などが最優先なのではないですか？

- ◆ 金沢城公園第3期整備計画
…ねずみ多門橋の復元など調査費だけで2千万円
- ◆ あらたな道づくり
…新ダブルラダー計画づくり
手取川架橋の事業着手など1億円



子どもの医療費、窓口無料化へ

市民と県政をつなぐ佐藤まさゆき議員。対案をしめし、実現に全力をあげています。左記の計画などを総点検。不急の事業計画は見直し、予算の組みかえ…税の使い方をきりかえるだけで実現できます。



討論に立つ佐藤まさゆき議員